

昭和二十八年五月十五日第三種郵便物認可  
昭和四十三年八月一日(毎月一回)一日發行)

雪印種苗株式会社

# 藝園草牧

文長郡長沼町字幌内一〇六六  
雪印種苗株式会社

中央研究農場

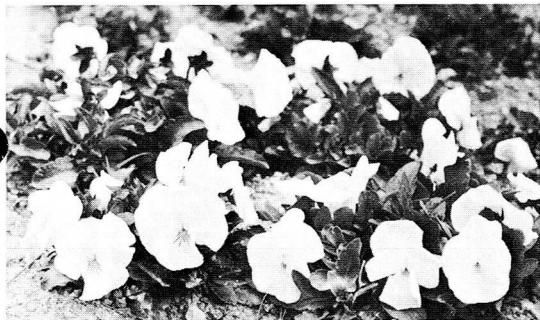


# 秋 播 草 花 の い ろ い ろ I

岡山大学農学部教授 安田 煎

## (1) パンジー

輪の大きさに大中小があるが、作ってみて花壇らしい雰囲気を示すのはやはり大輪系であろう。花色には、赤、桃、黄、紫、白の系統があり、これらをうまく組合せると美しい花色の花壇ができる。種子を播く時期は、関東で9月上旬、関西で9月中旬を標準とする。栽培の要点は、いったん苗床に種子を條播とし、発芽してから1カ月後の10月上旬に元肥を入れた花壇に定植することである。



パンジー

## (2) サボナリヤ・バッカリヤ

日本名をドウカンソウという大型のカスミソウである。草丈は1mまたはそれ以上に伸びるもので、株張りも大きくなるから、定植の距離は50cm平方に一株の割がよい、秋播一年草としては高性のものである。花色は美しい桃色で、花もカスミソウにくらべればかなり大きい。根をしっかりとさせて倒れないように作るにはやや粘質土がよい。摘心の必要はなく、そのままのばしたほうが見栄えがする。播種期、定植のやりかたはパンジーに準ずる。



サボナリヤ・バッカリヤ（ドウカンソウ）

## (3) 矮性キンギョソウ

最近の花壇用の品種は草丈にして20cmぐらいしかないものが喜ばれている。もう少し、丈の高いものがほしければ40~50cmの品種もあり、切花用のものになると70~80cmになる高いものもある。花色は紅桃、黄、白など各色があり、矮性ではあるが、花はそれほど小さくはない、種子がすこぶる小さいこと、冬はやや寒さによわいので、種子は箱にまき、畑におろしたら冬は切わらか、もみがらで防寒しておくがよい。播種期は8月下旬~9月上旬。



矮性キンギョソウ

## (4) 矮性ナデシコ

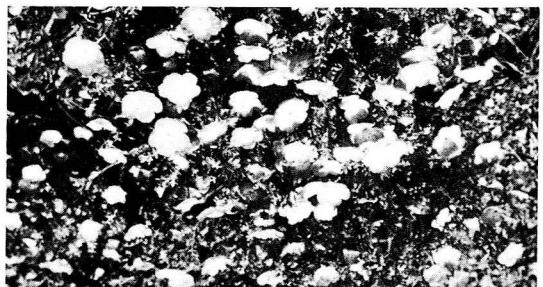
同じくナデシコといううちに、三寸石竹などといふ石竹の類と、美女撫子のうちの矮性のもの両方ある。この写真に示したものは美女撫子で、草丈は15~20cmほどしかないが、花の大きさは普通で、キンギョソウとともにカーペット花壇用として重宝なものである。播種期は9月上旬、年内に一度うえかえておいて、春、花壇に植えだすのが栽培法である。定植の距離は15~20cmに1本ぐらいが美しい、花色は無地のものより赤、桃、白、紫などの蛇目咲のものが多い。



アメリカナデシコ

## (5) ネモフィラ

北米原産でハセリソウ科という珍らしい科に入る一年草である。戦前は花壇材料としてよく作られたものだが、戦後はだいぶ少なくなった。しかし、花は美しいり色で、花心の近くに小さい斑点のあるのが特長である。草丈は20cmていどの小さいもので華美なよそおいはないが、上品な縁取やポーダー用に再認識されてよいものである。春播でも開花しないことはないが、この花を含めて秋播性の一年草は秋播をしてはじめてその特性を發揮するものである。



ネモフィラ